



2018年4月15日発行
第 617 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子
定価 1 部 40 円 送料 15 円 1 年分 (送料含む) 200 円

創立 60 周年に向けて

園長 白井徳満

平成 30 年 11 月 20 日に秋津療育園は創立 60 周年を迎えます。この間、化学・医療の発達とその結果としての高齢化による社会の変化は、園の在り方にも様々な面で大きな影響を与えてきました。

創立以来、障害者の生命と生活を守り、心身の清涼と発達を援助しながら、施設という限られた生活空間で求めうる豊かな人生を実現するため努力してまいりましたが、平成 30 年度は、障害者施設に求められる現在の社会の要請に対応すべく、以下の事業を行います。

1. 入園

18 歳未満の医療型障害児入所施設と療養介護事業の一体型運営により、175 名の障害児・者のお世話をします。社会の高齢化に並行して、園生の高齢化も進み、平成 30 年 1 月現在、入所者の平均年齢は 49 歳 7 ヶ月、平均在院日数は 31 年 6 ヶ月に達しています。

高齢化対策の第一は、加齢に伴う疾病や身体の変化に対する対応であり、骨粗しょう症、骨折、がん、心臓病、高血圧などの疾患の増加に備えます。

生活面では、生涯の大部分を施設で暮らすことになる入所者の人生が、少しでも、個性を持った人生として尊重され、変化と刺激を含む平和な時間になるように努力したく思います。

2. 地域とのかかわりにおいて

地域支援の働きとして、現在行っている以下の 5 つの事業を継続・発達させます。

- ① 通園(生活介護事業)
- ② 短期入所事業
- ③ 相談支援センター
- ④ 障害者歯科診療
- ⑤ 認可保育所(事業所内保育事業)

通園センターは、在宅の障害者のお世話を日中だけお引き受けする制度ですが、30 年度も 15 名定員の 17 名登録で運営し、送迎バス 3 台で 3 方向の送迎を行っています。通園の希望

者は多く、定員増が今後の課題となつていきます。レスパイトのための短期入所事業は、医療入院と合わせ 3 床で運営しています。短期入所も希望者が多く、希望者のすべてに対応できない現状ですので、同じく今後の増床が課題となっています。

相談支援センターは、入所者、通所者、近隣の障害福祉サービス利用者を対象に、障害福祉サービスに関する利用計画を作成し、そのフォローも行う事業ですが、現在、500 名を超える対象者を担当し、職員の対応能力を超えていますので、平成 30 年度は相談員 3 人体制で対応いたします。

在園生の歯科診療は東京歯科大学の派遣歯科医師により毎週 1 回実施していますが、その他に、障害者を対象とした外来歯科診療を月 2 回実施しています。障害者の歯科診療、ことに障害者の外来歯科診療は診療に時間を要すること、診療に協力してもらえない場合が多い事情があつて、一般の歯科クリニックでは多くの場合対応が困難のようです。当園の障害者外来歯科診療はまだ余裕がありますので、平成 30 年度も障害者の外来歯科診療に積極的に対応していきたく思います。

事業所内保育事業は、平成 29 年度から東村山市の保育園待機児童の解消に協力し、市の認可保育所として事業を進めています。平成 30 年度の定員は地域枠 13 名、従業員枠 6 名ですが、地域からの需要が多い現状であり、市の待機児童解消のため平成 30 年度も必要な働きを果たしたいと考えています。

全国重症心身障害児者施設職員研修会

全国重症心身障害児者施設職員研修(施設管理研究会コース)は去る平成 30 年 1 月 24 日から 26 日までの 3 日間、山西福祉記念会館(大阪市)で開催されました。講演 6 題と分散討議という構成で 3 日間の

研修でしたが、行政説明と 5 題の講演は、診療報酬、障害福祉サービス報酬の改定、社会福祉法等関連法の改正関連、福祉事業に携わる職員らの健康管理・心構えといった内容でした。分散討議は、事務長、事務担当に分かれ、関連法改正への対応、職員の健康管理、庶務・人事・会計の事務処理等について意見交換が行われました。

平成 28 年度の関係法の改正による障害児・者への対応は「地域支援」「きめ細やかな対応」等が課題となる。施設での支援に比べ在宅者への支援が不十分ということもあり、訪問型の事業の推進が求められています。

今年度は、障害児者関係法令の改正、社会福祉法改正などが一段落し、関係者は新たな体制、新たな事業展開に向けて動き出した年度であり、具体的な対応は来年度以降に見られるものと期待しております。



大規模修繕工事

が終わりました

平成 30 年 2 月 28 日付で大規模修繕工事が完了しました。外観を秋津療育園近隣地域に馴染むような色で、落ち着いた色を選んでいきます。防犯カメラを各外門に設置、駐車場ゲートパーシテムの導入、屋上の防水塗装工事、ボイラーの更新など、防犯対策を充実させ、内外部のシステムを更新することで省エネ化、効率アップなどを図っています



病棟だより

1月～3月はおめでたい行事が目白押しでした。みんなたくさんの記憶を心に刻んだ事と思います。

1 病棟は
病棟神社で
初詣



書初めも
上手に出来
ました



書初め

初詣



2 病棟は
水天宮様で
初詣

1月

バレンタイン



も・もしかして
僕にだけ!?
フフフフ

節分



ちょっぴり
怖いけど僕も
鬼退治!

2月



意中の人と
記念写真を
パシャリ

お誕生日
プレゼントに洋服を
ごさげんです

誕生日会



雛祭り



お雛様の前で・・・
今年も健康に
過ごせますように

3月

ホワイトデー



お返しは
カードで

バイキング



たくさんの
メニューに
悩んじゃいました
どれにしようかな

平成 30 年度

新規採用職員の紹介



①名前 ②配属先 ③趣味 ④一言



- ① 芦澤 雪乃 (あしざわ ゆきの)
- ② 事務局 経理課
- ③ 絵を描くこと
- ④ 少しでも早く仕事に慣れていけるように頑張ります



- ① 福島 千紗 (ふくしま ちさ)
- ② 事務局 庶務課
- ③ 探し中です
- ④ 精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします



- ① 大竹 美樹 (おおたけ みき)
- ② 医務部 臨床検査技師
- ③ フラダンス・スポーツ観戦・旅行
- ④ 新しい環境に早く慣れ業務を出来るように頑張ります



- ① 小林 由依菜 (こばやし ゆいな)
- ② 第 1 病棟 看護師
- ③ カラオケ (ただし音痴)
- ④ 不安は大きいですが、頑張ります よろしくお願い致します



- ① 石井 三和子 (いしい みわこ)
- ② 第 1 病棟 准看護師
- ③ 食べ歩き
- ④ 1つ1つ丁寧に覚えていきたいと思ひます



- ① 夏山 奈苗 (なつやま ななえ)
- ② 第 1 病棟 准看護師
- ③ 美味しいものを食べる事・旅行
- ④ 早く慣れて園生さんと楽しく笑顔で過ごしたいです



- ① 松田 裕太 (まつだ ゆうた)
- ② 第 1 病棟 准看護師
- ③ 映画鑑賞
- ④ よろしくお願いします



- ① 吉川 知樹 (よしかわ ともぎ)
- ② 第 1 病棟 保育士
- ③ ピアノを弾くこと
- ④ 一生懸命頑張っていきます よろしくお願いします



- ① 森田 華奈 (もりた はるな)
- ② 第 1 病棟 生活指導員
- ③ フルート・フリースタイルフットボール
- ④ 精一杯働いていきます よろしくお願い致します



- ① 塩田 莉菜 (しおだ りな)
- ② 第 2 病棟 保育士
- ③ ダンス・スノーボード・ランニング
- ④ 慣れないことが多いと思ひますが、頑張ります



- ① 斎藤 栄喜 (さいとう えいき)
- ② 第 2 病棟 生活指導員
- ③ 旅行
- ④ 不器用です



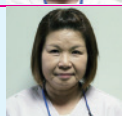
- ① 武田 久留実 (たけだ くるみ)
- ② 第 3 病棟 児童指導員
- ③ テーブルゲーム・睡眠
- ④ 不器用で話下手ですけど精一杯頑張ります



- ① 三原 晴樹 (みはら はるき)
- ② 第 3 病棟 生活指導員
- ③ 野球観戦
- ④ 明るく元気にやかましくない程度に頑張ります



- ① 小沢 優太 (おざわ ゆうた)
- ② 第 4 病棟 保育士
- ③ テニス
- ④ 常に笑顔で頑張ります



- ① 福井 典子 (ふくい のりこ)
- ② 第 4 病棟 生活指導員
- ③ 旅行
- ④ 早く秋津療育園に慣れる様頑張ります



- ① 遠藤 未希 (えんどう みき)
- ② こひつじ園 保育士
- ③ 旅行・スポーツ観戦・カフェ巡り
- ④ 明るく元気に笑顔で頑張ります

小平特別支援学校 秋津療育園分室 こぶし学級

高等科 卒業しました！

3月に2名の利用者様が「こぶし学級」高等科を卒業されました。当日病棟には卒業生がお祝いに集まってくれました。

ご両親・先生・卒業生・職員に見守られながら、卒業証書を受け取ることができました。たくさんの思い出を胸にこれからも楽しく過ごしていきたいと思います。卒業おめでとうございます。



こどもボランティアさんと

子どもたちと一緒に遊ぶ時間を作り、園生の楽しみを増やすことを目的に、H28年度から子どもボランティアの受け入れを始めました。園生と一緒にトランプやオセロをしたり、絵本を読んでもらったり、行事のお手伝いなどをさせていただいております。



通園センター便り



新年を迎えて、今年も清瀬日枝神社・水天宮に初詣に行きました。天候に恵まれ、暖かな陽射しを浴びながら、祈願したり、清瀬の「氣」守りや御朱印、誕生月の花守りを頂いたり、おみくじを引いて今年の運勢を占ったりとそれぞれに希望したことを満喫しての参拝となりました。

2月からは、節分、バレンタインとイベントが続き、節分ではみんなでペットボトルなどを使って作った鬼ヶ島を、この数年で鍛え上げたポッチャの技術で倒すと…バレンタインでは、保冷剤を使った芳香剤を作り、食紅で色付けをして香りはアロマオイルを選んで入れました。ご家族へ日ごろの感謝を込めて、プレゼントしました!

3月はひな祭りに因んだクイズ大会を行いました。難問をみんなでお考えました。楽しく勉強しました。

御多分に漏れず大雪でした

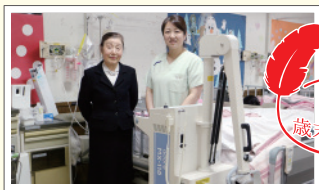


今年は荒れた天候が続きましたね。当園にも大雪がやってきました。外を眺める利用者さんにはどのように映っていたでしょうか? しかし雪かきはたいへんでした。...

「NHK歳末たすけあい」 配分金によるX線撮影装置

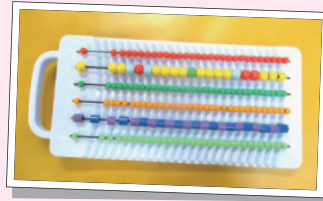
この度は、東京都共同募金会による「平成29年度NHK歳末たすけあい」の募金を賜り、御寄附をして頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

今回の配分金により、「回診用X線撮影装置」を購入することが出来ました。これにより、園生や地域の短期利用者様の放射線撮影室に移動時にかかる負荷（ストレス）や移動時の事故等を無くすることが大いに期待されます。園生や地域の利用者の笑顔がたくさん増える事を期待し今後の療育に益々、力を入れていきたいと思っております。



「重心施設で 楽しい生活を送ろう」
2・2・1 現任研修 講師 児玉和夫
まず、日本における重症児療育の遷として、秋津療育園の歴史とほぼ等しい60年の間に重症児たちの置かれていた時代が、どう変わってきたかをお話しいただきました。そして、重症児施設から「児者一貫 一体的運用」が恒久的に認められ、今後の施設の在り方、役割について、「施設に入所していても社会の中の1人として個々の可能性と活動と参加をどう支援していくのか」が、これからの課題であると示唆してくださいました。
児玉先生が顧問として秋津にいらっしやうて1年、私たち職員には「園生ひとりひとりの評価」「寝ている場所から出て、活動に参加する機会を増やす」そして、「何時かある建替えも視野に入れ将来に向けた構想を今から練っておくこと」と話されました。重症児者施設で働くことの役割を改めて考え、視野を広げていくことのできた時間となりました。

リハビリテーション室 (機能訓練室から名称変更) **リハ** だより



今回は、作業療法士(OT)が作った楽器を紹介します。100均で購入した洗濯板に、ビーズを通したゴム固定して、完成！手を上に乗せて、ちょっと動かすだけで音を出すことができます。またゴムを引っ張れば、パチン!と大きな音を出すこともできます。OTのグループ訓練では、みんなで触って、合奏を楽しんだそうです。ビーズを木製や金属製に変えたり、形を変えたりすると、音の違いも楽しめそうですね。また、触るのが苦手な人や、抵抗が強い人には、ハンカチをかぶせるだけで触りやすくなるそうです。訓練室に展示しますので、ぜひ触りにきてください。

元気いっぱい こひつじ園

平成29年度4月より家庭的保育事業等(事業所内保育事業)として東村山市の認可を受けました。0歳から2歳までの子どもの保育を行っております。東村山市の子どもの定員が10名、従業員の子どもの定員数が9名となり、合計19名の子どもを預かります。平成30年度より東村山市の子どもの定員数が13名に増え、それに伴い、従業員の子どもの定員数を6名に変更しております。こひつじ園の子どもたちは秋津療育園のロビーに設置しているアクアリウムを見るのが大好きで、毎週のように散歩に来られます。「お魚さんキラキラしてる。」と純粋な子どもたちの笑顔を見るのが日々の癒しです。



あいおいニッセイ同和損保保険 様よりご寄付をいただきました

3月7日、あいおいニッセイ同和損害保険東京西支店(立川市)の福祉や防災、障害者支援などを目的とした社員による社内募金「ゆにぞんスマイルクラブ」より15万円御寄附頂きました。心よりお礼申し上げます。この寄付金は園生と相談し、最良の使い方を模索し、使いたいと考えております。※この様子は3月8日の読売新聞地域版に掲載されました

春が来た

創設者夫人 故 草野 照子

三月四月は、各家庭は賑やかな喜びと心配との交差する季節です。それは子供たちの卒業、進学、入園とおめでたいことのある時期です。子供の成長は親にとって何よりの喜びです。

振り返って秋津の児童の三月四月は、卒園もなし進級もなしで淋しいものです。でも、何とか保育に新鮮味を出して今年目標を達

を痛めます。つけ育て延ば保母さんをは職員が努力が咲き実ります願いを互いに出しましょうこんな状態にはうれしいります。私た



世話には北は東北から南は沖縄まで十数人も来てくださる事です。新職の養成と一緒に先輩職員も負けずに勉強しなければなりません。皆元気に張り切って、来てくださる方に暖かく私たちも元気に笑顔でやさしくお迎えし、互いに手を取って困難を切り抜けましょう。意見の違いがあっても目的は一緒なので、先ず先輩職員、元氣を出しましょう。

春が来ましたよ！心機一転の春が。

（昭和48年発行 あきつ85号より）
*現在と表現方法異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

——ご寄付—— 1月から3月下旬までに多くの皆様に御寄付を頂きました。御寄付頂きました皆様をご紹介します。伊藤知子様、安楽久子様、立正佼成会東村山協会の皆様、長谷川初子様、西尾幸雄様、児玉良江様、有限会社魚三九様、日本基督教団東村山協会の皆様、霊南坂教会の皆様、鈴木二郎様、本田千恵子、美容恵の会の皆様
この度は、ご寄付をたまわりまして誠にありがとうございます。皆様方の温かいご支援とご協力に、心より御礼申し上げます。

編集後記
春の訪れを感じる今日この頃、私は自分も含め、前を向いて積極的に動ける職場環境を日々模索しています。
また、新たに秋津療育園の仲間に加わる新職の皆様、御入職おめでとうございます。社会人となり、良いこともあり、それ以上に困難なことも当然あると思います。先輩方は優しく丁寧に指導してくれますので、しっかり聞いて、コミュニケーション取り、不撓不屈の精神で頑張ってください。(編集担当者 小池剣)

あきつ 第617号
E-mail: jimukyoku@tendoukai.net
HP: http://www.tendoukai.jp
発行人/飯野 順子
発行/年4回1・4・7・10月発行

